

独自の技術で勝負する試作板金屋

株式会社アミヤ

低コスト・短納期の『積層金型』

株式会社アミヤは、板金を主力事業として誕生して以来、四半世紀以上に渡り独自の技法と共に営業している。

『アミヤ』という会社の名前は、現社長の祖父の実家が網元で、『網屋』という屋号だったことに由来する。社長である中村勝人氏はかつては実兄が経営している尼崎の自動車製品試作板金工場で働いていたが、独立し機械を導入して自分の思い通りにやってみたく、という思いが強く、1980年に自ら『アミヤ製作所』を創設した。



積層金型による絞り加工。

それから4年後に法人化し『株式会社アミヤ製作所』となり、1995年には現在の『株式会社アミヤ』に社名を変更した。

同社は試作板金を主に取り扱っている。図面さえあれば、金型から試作・量産・納品までがワンストップで出来る。小ロットの品物は短納期で対応可能だ。

現在の主な取引先は農機具関係、自動車部品関係、弱電関係などである。海外輸出も多い農機具関係の景気は特に良い。輸出先は中国、アメリカ、ヨーロッパと広範だが、需要期がそれぞれ異なるため、暇になることはないのだという。国内向けの仕事が一段落したならば、次は輸出向けの仕事、というように年中仕事がある。農機具の各種カパー類、フェンダ、ステップ等を生産している。

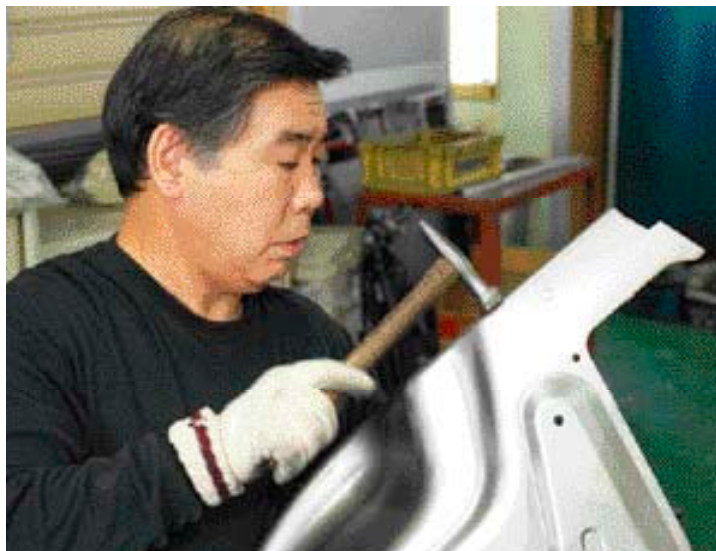
アミヤ独特の金型として、『積層金型』がある。積層金型とは、レーザーでカットした6mm程度の厚さのSS材を積み重ねて作った金型のことで、通常の金型よりも製作時間が短く済み、また数千回の使用に耐える耐久性を持つ。もしも磨耗してきたとしても、製品と接する面を取り替えれば良い。そして何よりコストが格段に安く

抑えられるのだ。鉛を削り、一から金型を作る従来のやり方に比べ、積層金型ならば材料費が俄然安く済む。この積層金型により、製品の短納期・低コストが現実のものとなる。このような独創的な製造方法で作られた積層金型は、アミヤの持ち味であると専務の中村恒氏は言う。

そしてこの積層金型を使った絞り加工もアミヤの特徴的なセールスポイントだ。また積層金型でプレスした製品に、3次元レーザー加工を施すことも出来る。特にアール部分や複雑形状部分に有効だ。3次元レーザーを保有している会社は少なく、この辺りもまたアミヤの強みなのである。

高度な職人技

しかし同社の強みはこれだけではない。難易度の高いアール形状や球面形状に仕上げるのに



熟練技、職人による叩き加工。

適した『叩き成型加工』もまたアミヤの誇る技だ。機械で行うのは不可能である叩き成型加工は、全て職人の手作業によるものだ。叩



左：社長 中村勝人氏、右：専務取締役 中村恒氏。

うよう更に技術・設備を高め、柔軟に成長し続けることを目標としている。

き加工は熟練した職人のみがなせる技。習得するには10年は要するという。

積層金型や叩き加工といったオリジナルの技術が敏腕営業マンであるアミヤ。今後は時代の流れに沿

Company Profile

株式会社 アミヤ

所在地：大阪府 摂津市 鳥飼本町 4 丁目 4 番 29 号

TEL: 072-654-3588 FAX: 072-654-5058

担当者：専務取締役 中村 恒

事業内容：精密板金加工、板金試作品製造

エミダス会社・工場詳細情報：

<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?74369>

※「エミダス工場検索」のキーワード検索「アミヤ」で検索できます。

本誌付録の「ザ・日本製造業パワーアップ CD-ROM」にて、同社のホームページをご紹介します！

ザ・日本製造業
パワーアップ CD-ROM

EMIDAS

編集部／青木理恵子